



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社
 コード番号 3121 URL <http://www.mbkworld.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 一木 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼財務経理部長 (氏名) 宮毛 忠相

TEL 03-5224-4900

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	2,169	8.1	59	—	25	—	35	—
27年3月期第3四半期	2,007	△14.8	△52	—	△67	—	△263	—

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 33百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 △188百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第3四半期	1.50	1.50
27年3月期第3四半期	△11.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第3四半期	5,553	2,859	51.5	107.05
27年3月期	4,907	2,293	46.6	102.92

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 2,858百万円 27年3月期 2,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	2,785	4.3	39	—	43	—	35	—	1.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	27,115,056 株	27年3月期	22,615,056 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	413,410 株	27年3月期	413,249 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	23,641,692 株	27年3月期3Q	22,201,918 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値から大幅に変動する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. その他	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(以下「当第3四半期」)の我が国経済は、個人消費や企業収益の底堅い動きなどにより、緩やかな回復基調が続いております。

先行きについては、引き続き堅調に推移することが期待されるものの、中国の成長鈍化や金融資本市場の変動の影響により、景気が下押しされるリスクが考えられます。

当社グループの主要な事業領域についてみると、国内の不動産市場、ホテル・レジャー市場、企業の設備投資需要はいずれも、金融緩和や円安の影響などにより、引き続き堅調に推移しております。

このような経済状況のもと、当第3四半期の当社グループは、新規賃貸用不動産の取得、ホテル等の既存店舗の採算向上、インターネットカフェ新規店舗の販促活動、並びに食品製造機械の生産・受注活動など、経常的な収益力を強化するための取り組みを積極的に進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期の当社グループの業績は、店舗及び所有不動産が増加したことなどから、前年同期と比較して、売上高2,169百万円(前年同期比8.1%増)のやや増収となりました。

利益水準については、事業全般について順調に推移し、営業利益59百万円(前年同期は営業損失52百万円)、経常利益25百万円(前年同期は経常損失67百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益35百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失263百万円)となり、各段階利益の黒字を確保いたしました。

なお、当社は、平成27年9月8日開催の取締役会において、第三者割当増資(払込金額540百万円)の実施を決議し、同9月30日開催の臨時株主総会における特別決議による承認を経て、同10月5日に払込が完了しております。

報告セグメントごとの業績及び直近の状況は、次の通りです。

(マーチャント・バンキング事業)

当社グループは、当事業部門におきまして、国内外の企業及び不動産向けの投資事業を営んでおります。

当第3四半期は、大きな投資回収はなかったものの、前期に新規取得した物件の収益貢献などから、賃貸用不動産による収益が増加し88百万円(前年同期は49百万円)となり、売上高250百万円(前年同期比3.4%増)、セグメント利益81百万円(前年同期比342.8%増)の増収、増益となりました。

また、当社は、平成27年8月に名古屋市内の賃貸用マンションを新たに取得いたしました。当該物件取得にかかる設備投資額は283百万円、銀行借入額は250百万円であり、今後、年間ベースで22百万円前後の賃貸収入を見込んでおります。

(オペレーション事業)

当社グループは、当社及び株式会社ホテルシステム二十一(連結子会社)において、宿泊施設、ボウリング場及びインターネットカフェ店舗の運営、並びに給食業務の受託を行っております。

当第3四半期は、平成27年3月にインターネットカフェ店舗を新規開業した影響により、売上高1,651百万円(前年同期比9.0%増)のやや増収となりました。損益については、インターネットカフェ店舗の立ち上げに伴う損失があったものの、ホテル、旅館部門の業績が好調であったことから、セグメント利益75百万円(前年同期比321.2%増)の増益となりました。

なお、「国民宿舎マリンテラスあしや」(福岡県遠賀郡)は、契約期間満了のため、平成28年3月末をもって、他社に営業を引き継ぎ、当社による営業を終了することとなりました。

(マニュファクチャリング事業)

当社グループは、旭工業株式会社(連結子会社)において、食品製造機械の製造及び販売を行っております。

当第3四半期は、4件の納品を完了し、保守による収入も堅調に推移しましたが、第4四半期以降に納品する製品の生産に注力したことなどから、売上高268百万円(前年同期比6.8%増)、セグメント利益5百万円(前年同期比72.2%減)の増収、減益となりました。

なお、当事業部門は、受注規模や検収時期により四半期ごとの損益の変動はありますが、足下の生産活動及び来期に向けての受注活動は順調に推移しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産残高は5,553百万円となり、前連結会計年度末に比べ646百万円増加いたしました。現金及び預金の増加525百万円、流動資産のその他の減少45百万円、有形固定資産の増加238百万円、無形固定資産の減少39百万円が主な変動要因であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債残高は2,694百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円増加いたしました。短期借入金の減少100百万円、長期借入金(1年内返済予定のものを含む)の増加216百万円、流動負債のその他の減少54百万円が主な変動要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産残高は2,859百万円で、前連結会計年度末に比べ566百万円増加いたしました。無償減資及び第三者割当増資の影響により、資本金64百万円の減少、資本金準備金249百万円の増加、利益剰余金391百万円増加が主な変動要因であります。

この結果、自己資本比率は51.5%(前連結会計年度末は46.6%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月14日付当社「平成27年3月期 決算短信」において公表した通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	580,655	1,106,512
受取手形及び売掛金	194,660	179,396
営業投資有価証券	398,782	399,862
販売用不動産	103,935	103,935
商品及び製品	2,872	2,892
仕掛品	55,912	35,276
原材料及び貯蔵品	19,438	24,958
その他	113,971	68,012
貸倒引当金	△999	△982
流動資産合計	1,469,229	1,919,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,654,465	1,629,829
土地	1,370,520	1,477,868
その他(純額)	118,852	96,657
減損損失累計額	△307,943	△129,489
有形固定資産合計	2,835,895	3,074,865
無形固定資産		
のれん	307,496	267,689
その他	959	777
無形固定資産合計	308,456	268,467
投資その他の資産		
投資有価証券	141,983	135,333
敷金及び保証金	113,628	122,867
その他	39,920	34,029
貸倒引当金	△1,920	△1,920
投資その他の資産合計	293,613	290,310
固定資産合計	3,437,965	3,633,642
資産合計	4,907,194	5,553,508

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	106,166	117,752
短期借入金	150,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	104,852	129,180
未払費用	95,378	117,030
賞与引当金	10,100	5,700
役員賞与引当金	1,600	780
その他	207,896	153,493
流動負債合計	675,993	573,936
固定負債		
長期借入金	1,703,155	1,895,015
長期預り敷金保証金	97,672	96,278
退職給付に係る負債	34,450	35,650
役員退職慰労引当金	10,600	10,600
その他	92,119	82,590
固定負債合計	1,937,997	2,120,133
負債合計	2,613,991	2,694,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,765,732	2,700,970
資本剰余金	20,849	270,000
利益剰余金	△452,213	△61,111
自己株式	△83,302	△83,336
株主資本合計	2,251,066	2,826,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,872	31,771
その他の包括利益累計額合計	33,872	31,771
新株予約権	8,264	1,144
純資産合計	2,293,203	2,859,438
負債純資産合計	4,907,194	5,553,508

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	2,007,668	2,169,576
売上原価	848,265	845,128
売上総利益	1,159,402	1,324,447
販売費及び一般管理費	1,212,283	1,265,237
営業利益又は営業損失(△)	△52,880	59,210
営業外収益		
受取利息	1,258	45
受取配当金	4,677	8
為替差益	891	8
その他	2,941	1,929
営業外収益合計	9,768	1,992
営業外費用		
支払利息	9,599	18,862
社債利息	4,820	—
新株発行費	—	7,502
支払手数料	5,359	9,041
持分法による投資損失	3,031	—
その他	1,620	—
営業外費用合計	24,430	35,406
経常利益又は経常損失(△)	△67,542	25,796
特別利益		
新株予約権戻入益	13,795	7,120
投資有価証券売却益	24,308	17,400
持分変動利益	11,927	—
保険差益	844	280
その他	45	200
特別利益合計	50,920	25,000
特別損失		
事業整理損	223,388	—
事務所移転費用	4,564	—
その他	262	—
特別損失合計	228,216	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△244,837	50,796
法人税、住民税及び事業税	19,249	14,553
法人税等調整額	△882	752
法人税等合計	18,366	15,305
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△263,204	35,490
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△263,204	35,490

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△263,204	35,490
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74,916	△2,100
為替換算調整勘定	49	—
その他の包括利益合計	74,965	△2,100
四半期包括利益	△188,238	33,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△188,238	33,390

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

① 資本金の額の減少及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分

平成27年6月25日開催の第91回定時株主総会において、資本金の額の減少及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分を決議したことにより、平成27年8月1日付で、資本金が334,761千円減少し、資本準備金が20,849千円減少しており、その他資本剰余金へ振り替えた後に繰越利益剰余金へ振り替え欠損填補を行いました。

② 第三者割当による新株式発行(第三者割当増資)

平成27年9月8日開催の取締役会において、第三者割当による新株式発行を決議し、平成27年9月30日開催の臨時株主総会における承認を経て、平成27年10月5日付でアートポート不動産株式会社(現社名:アートポートインベスト株式会社)から第三者割当増資の払込が完了しております。これにより、資本金が270,000千円増加し、資本準備金が270,000千円増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャント・バンキング事業	オペレーション事業	マニファクチュアリング事業			
売上高						
外部顧客への売上高	241,918	1,514,669	251,080	2,007,668	—	2,007,668
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	241,918	1,514,669	251,080	2,007,668	—	2,007,668
セグメント利益	18,296	18,019	21,194	57,510	△110,391	△52,880

(注) 1. セグメント利益の調整額△110,391千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャント・バンキング事業	オペレーション事業	マニファクチュアリング事業			
売上高						
外部顧客への売上高	250,103	1,651,332	268,139	2,169,576	—	2,169,576
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	250,103	1,651,332	268,139	2,169,576	—	2,169,576
セグメント利益	81,016	75,905	5,890	162,812	△103,602	59,210

(注) 1. セグメント利益の調整額△103,602千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

その他役員の変動(平成28年2月9日付)

退任取締役

取締役 窪田 一貴(辞任による退任)